



SOS GUATEMALA

2018 年 6 月 3 日 グアテマラのフエゴ火山が大噴火しました

火山灰は上空 6000 メートル以上にあがり、溶岩や灰で近隣の貧しい村々は破壊されました。6 月 6 日には再び火砕流が発生し、一時溶岩が首都にまで流れ出る緊急状態に陥りました。噴火による死者は 113 人、行方不明者は 300 人を上回りました。全体の被災者は 170 万人を超え、降灰はグアテマラ・シティーでも確認されマスクが必要不可欠な状況です。政府による救助活動は 6 月 18 日現在打ち切られています。エルサルバドルの FUNDIPRO を中心として中米のカウンターパートが協力し、支援を開始しています。

オリーブジャパンは I.S.I.(見捨てられた児童の会/イタリア)と共にグアテマラの被災した子どもたちの教育支援に協力します。



噴火当時の様子



フエゴ火山噴火 支援レポート

2018 年 6 月 5 日 (火)

フランチェスコへ

グアテマラのフエゴ火山の噴火についてニュースでは、被災者は 70 万から 100 万人とも言われています。避難民は 3,271 人、重軽傷は少なくとも 46 人、死者 69 人との最新情報です。首都グアテマラシティ（フエゴ山から約 40 キロ）にいる私たちの仲間は、火山灰は降るものの全員無事です。溶岩や火山灰によって貧しい村々は破壊されました。私たちは、グアテマラ支援のためリブロスリブレスのオフィスに支援物品の収集センター開設を考えています。詳細は、また後日伝えます。私たちは元気です。安心してください。

チャオ アンドレア



2018 年 6 月 6 日 (水)

フランチェスコへ

火砕流が発生しました。現在、首都に溶岩が流れ、緊急警報が発令されました。グアテマラの仲間は、安全のため今日の集まりを中止し、家で待機することになりました。火山泥流が発生し、災害が深刻化する恐れがあります。仲間が住む首都はフエゴ火山から少し距離があるので心配しないでください。多くの被災者がいます。できる限りの支援をしたいと思います。

チャオ アンドレア



6 月 17 日 (日)

親愛なるアンドレア

私たちは、フエゴ火山の近くにある被災地のサカテケペス県アロテナンゴ市の市役所を訪ねました。避難所では被災者のために働く幼稚園教師のブレンダさんと知り合い、1 日一緒に、支援用衣類の整理などをして過ごしました。

ここには、他地区の避難所から、収容所に入りきれなかった人々が流れ込んできているそうです。

マリアテレサ



2018 年 6 月 12 日

親愛なるアンドレア

4 地区にあるレストラン Kaffa の物品回収センターに行きました。オーナーはリブロスリブレスを通じて知り合った友人です。まず、最初に『分かち合いの意味』（ジョヴァンニ・リヴァ講義録より）を読んで作業をする目的と意義を確認しました。そして支援物品の収集と整理に一日をついやしました。私たちはボランティアをしているという表現をよく使いますが、実際にはこの国で起きている現状に直面すると、それ以上のことが必要だと痛感します。今週も他のレストランを借りて支援物品収集センターを開設し、被災した人々の話を聞き、私たちにできる支援を模索します。火山灰による農作被害、そして病気の発症者もいるときいています。政府は真実を公表していません。政府は被災民が電気もなく飲み水にも困窮しているにも関わらず、すべての援助を跳ね返しています。これには怒りを覚えます。避難所は政府の支配下にあり、人々はただ避難所に「放置」されているだけという状況です。

貴方の意見を聞かせてください。何枚かの写真を送信します。

マリアテレサ



フランチェスコ : Francesco Riva 中米責任者 (I.S.I)

アンドレア : Andrea Romani FUNDIPRO 責任者

マリアテレサ : Maria Teresa グアテマラ責任者

(翻訳・文責 : オリーブジャパン 吉見ひかる)

現地の NGO づくりー将来と展望 その4

ジョヴァンニ・リヴァ

(北の NGO グループにとって大切なポイントはグループの『理念』である。一緒に働く仲間は互いの絆を大切に、またグループのアイデンティティーを深めることは大きな仕事である。また、南のカウンターパートで働くときには実際に人に会い、現地の人々と働くことが重要である。) 前号より

現地で共に働くパートナーの問題ですが、ふつう政府から資金援助を受けるとパートナーはしっかりしていて、成功し、きちんとした技術や職をもった専門家でなければなりません。しかし、そのようなパートナーが相手であれば何のために私たちはそこまで行かなければならないのでしょうか。私たちが現地に行く理由は、そこで困っている人々のために一緒に働きたいからです。つまりその人々は仕事がなく、専門技術がないからこそ困っているわけです。ですから一緒に働くことによって少しずつ発展していくのです。そうしないなら結局、教育を受けて仕事をもらっている完璧なグループは、現地にいる専門家たちとつながるグループになり、次にはその国の中でエリートと貧しい人々の差が益々生じてしまいます。むしろ仕事がなく困っている人々を訓練しながら一緒に働き、彼らたちが自立するような方法をとることが私たちの方法です。例えばある NGO は、グアテマラにプロジェクトがありました。ところで、その NGO の国の外務省から監査が入り、外務省は彼らに対して、援助をたくさん受けているあるグループのプロジェクトへの協力を要請したのです。しかし、そのグループは山ほどの資金を受けていたため、この NGO の援助の方向とは異なっていました。結局、活動は停止されることになりました。

開発途上国でパートナーを育成するためには、少なくとも 3、4 年間必要です。それも支援事業の計画が始まる前にです。このような活動には根気と忍耐が伴わなくてはなりません。人々と共に生活し、話し、食事をして友人になり、少しずつ彼らたちも問題意識を持ち、自立し、大人であることを確認していかななくてはならないからです。つまり私たちが自分の国に帰国しても、彼らたち自身がそのプロジェクトの理想を自分のものとして、同じ理想に向かって頑張り、自由にその責任を選んでプロジェクトを実行していきます。このようなプロジェクトは大変苦勞が多く、その過程には長い時間がかかります。結果がどうなるかを前もってわかることもできません。

彼らたちと仕事をする時にはいくつかの点を中心としなくてはなりません。第一に若者たちに注意を払うことです。若者たちはその国の未来なので大切にすべきです。上流階級の若者たちも下流社会の若者たちの中にも、正義を信じて何か良いことをしたいと考えている若者たちがいるのでその力を借ります。新しい力を持っている若者と、同時に伝統を忘れないことも大切です。例えばお年寄りにはたくさんの知恵があり、経験が豊富な方がたくさんいます。彼らたちも若い頃には色々な夢を持っていましたが、後に人生は辛かったり権力の餌食になるなどして、年をとってしまいました。しかし、熱意のある若者と出会うことによって再びその熱意を発見することもあるのです。ですから、そのお年寄りの方の力を借りて、若い力を伝統の中に働かせます。お年寄りは若者に自分の技術や知識を与えることができ、伝統を守っていくこともできるのです。従って、一つのポイントは若者たちを自分の伝統の中で育てることです。そして、もう一方では女性たちです。このような国では女性たちは大変苦しい状況の中にいるので、自分たちがいる状況を変えたいと望んでいます。ですから協力的であり、エネルギーを持った女性がたくさんいます。また、自分に代わって現在行っている仕事を任せる人を探すことです。私が去った後を引き継ぐのは誰か、この人だったらと感じた一瞬ですぐに試みることです。私たちはこのような活動をしたいので一緒に取り組んで下さい、と直ぐ責任を感じさせます。同時にそのような具体的な仕事をさせて、その仕事の大きな意味と価値も説明します。例えば、蜂を飼育して蜂蜜を作りたいとします。しかし、自分の民族には蜂蜜だけが必要なわけではなく、生きる目的が必要なのです。ですから、その人が具体的な苦しい仕事を通して全体的な意味を掴まえるように育てるのです。そこが一番難しい点です。このような仕事の質の飛躍を私たちの国の諺をかりると「大理石を噛む」と言います。つまり歯が折れるくらい困難だということです。

(1994 年 11 月 26 日講演) 次号に続く

ジョヴァンニ・リヴァは「友情こそが真の平和を作る」という理念のもと、祈り、教育、働きについて絶えず若者に教えました。オリーブジャパンと各国のカウンターパートの活動はその教えを礎としています。

エルサルバドル便り

エルサルバドルの生活も 7 ヶ月を迎えました。最近、月に 1 度、各国の料理を作っています。毎月違う国の料理を計画するので大変ですが、それもとてつよい分ち合いの時間になります。先月は日本料理を披露しました（から揚げでしたが）。今月はベネズエラ料理を計画。実は誰も作ったことがなく手探りです。でもそれもスタッフの楽しい時間の 1 つとなっています。もうすぐ国際ホリデーです



ね。イタリアで皆と会えることを楽しみにしています。夏にはグアテマラでの活動報告ができると思います。皆さんの支援をよろしく願います。
(柴田暁央)

映画『沖縄スパイ戦史』監督：三上知恵×大矢英代
8/11（土）～名古屋シネマテークにて上映



オリブジャパン国際開発協力協会はカウンターパートの
ONEWAY 国際平和文化協会とともに『沖縄スパイ戦史』を応援しています。

7/21（土）・22（日）
チャリティーショップ開催



エルサルバドルの子どもたちのための

チャリティーショップ

7月21日（土）11:00-17:00
7月22日（日）10:00-15:00

カザン珈琲本店横（旧タツミ）
名古屋市昭和区台町 2-19

Vamos!



オリブジャパン国際開発協力協会
〒465-0025 名古屋市名東区上社 2-94 北ハイツ 104
TEL: 080-4306-1057 (鈴木) HP: <http://olivejapan.sakura.ne.jp/>

地下鉄 鶴舞線
桜通線 御器所駅
4 番出口より徒歩 4 分

会員募集

オリブジャパンの活動に賛同していただける
会員の方を随時募集しています

- ・賛助会員（一ヶ月一口 10,000 円）
- ・正会員（一ヶ月一口 5,000 円）
- ・協力会員（一ヶ月一口 2,000 円）
- ・参加会員（一ヶ月一口 1,000 円）
- ・同調会員（一ヶ月一口 500 円）

振替口座番号

00890-1-24582

会員の皆様には、会報「オリブプレス」と
講演会、バザー等のご案内を
優先的にさせていただきます。

郵便振込用紙に必要事項と会員の種類、
納入方法（月払い／年一括）をご記入の上、
会費を納入ください。

オリブプレス Vol.25 2018 年 7 月発行
オリブジャパン国際開発協力協会
olivejapan80@hotmail.com
<http://olivejapan.sakura.ne.jp/>
編責：オリブプレス編集部